

2015年5~8月
開講

第2期生募集

〔地域をリードする人材育成プログラム〕

現場みらい塾

Produced by **PHP総研 × 構想日本**
<http://research.php.co.jp/event/2015/05/16.php>

人口減少時代に突入した今日。地域にとって最も必要なのは、直面するさまざまな課題を自分事として捉え、考え、行動できる人材です。

「前例踏襲を振り払い、マニュアル依存から抜け出して、課題解決と未来創造に挑戦する！」

そんな強い志をもち、現場で活躍できる地域リーダー人材を輩出することをめざします。

■運営団体より



消滅可能性のある自治体 896。衝撃的な数字です。しかし大事なことは、全国各地の人々や生活が消滅するのではなく、「今のままの自治体はなくなるかもしれない」ということです。

これからの自治体、その職員は何を考え、何をしないといけないのか。根本的な発想転換が必要です。しかし、職場の中や町の中からはそのヒントはなかなか見つかりません。「うちの町を消滅させない!」という志のある職員のみなさん、ここで実践的なきっかけをつかんでください。



高齢化、人口減少、経済停滞、財政逼迫、日本各地がおかれた状況は深刻化するばかりです。これを打開するには、地方自治を地域経営という視点で捉え直し、自ら考え、自ら行動する人材が必要です。

現場みらい塾では、そうした方々のために、PHP 総研と構想日本の経験とノウハウを結合させた実践的なプログラムをご提供します。

[本塾の特徴]

1. 地域経営の第一線で活躍している
多彩な講師陣
2. 最先端の政策や手法のトレンドを学びとる
講義プログラム
3. 自ら考え、取り組むことで体得する
実践プログラム

第一期生からのメッセージ



安藤志保

広島県三原市議会議員

そもそも何のための事業なのか、評価を行う視点でウロコを落とされ、実際にディベート・仕分けを体験する過程で、講師の方々の視点の幅・情報量に圧倒され、(土日×3回+宿題)というハードな研修を共にした熱い自治体職員・議員の仲間を得た。研修で得たものが、現在進行形で議員活動に役立っています。



熊井成和

千葉県館山市役所

考える力を養うのに役立つ研修です。ワールドカフェではチームのアイデア共有と深化のイメージが具体的になり、ディベートでは異なる立場を体験することで考える視点が増え、事業仕分けは自治体施策を深く考える良い機会でした。講義、実践を合わせた手法も良く、他自治体職員、議員と共に考える場としても有意義でした。



大迫慎太郎

三重県庁

「実際に体験することが成長につながる」と考えている私にとって、「現場みらい塾」でディベートを体験したことは、大きな財産となっています。都合のよいデータだけを使って、目の前の課題を解決することに注力するのではなく、様々なデータから多面的に分析し、課題を設定することの重要性を体得することができました。



渡辺健二

鳥取県北栄町役場

残念ながら全3回中2回の参加ではありましたが、大変有意義なものでした。特に、第3回の全事業シートでの取り組みは行政改革が急務となっている本町としては大変興味深く、早速来年度にかけて本町でも取り組むこととしています。意欲ある全国の同志の熱に触れることができ、大変刺激的な4日間でした。

第**1**回：5月16日(土)～17日(日)

講義：自治とはなにか

福嶋浩彦 中央学院大学教授(元我孫子市長/消費者庁長官)

講義：松阪市住民協議会の挑戦

山中光茂 松阪市長、および松阪市住民協議会代表者

講義：地方創生におけるKPIのあり方(第2回実践に向けて)

熊谷 哲 PHP総研主席研究員

実践：ワールドカフェ

モデレーター：山口高弘 GoB-Lab Director

実践：問題構造分析フレームワーク

モデレーター：熊谷 哲 PHP総研主席研究員

第**2**回：6月20日(土)

講義：地方創生の意義と実践モデル

佐村知子 内閣審議官/まち・ひと・しごと創生本部事務局長代理

講義：できる事業シートの作成方法(第3回実践に向けて)

伊藤 伸 構想日本総括ディレクター

実践：成果目標設定フレームワーク

モデレーター：熊谷 哲 PHP総研主席研究員

第**3**回：7月11日(土)

講義：これからの自治体経営

定野 司 足立区教育委員会教育長

講義：事業仕分けの真実とあるべき事業評価(第4回実践に向けて)

伊藤 伸 構想日本総括ディレクター

実践：模擬事業仕分け①判定の基礎

モデレーター：伊藤 伸 構想日本総括ディレクター

第**4**回：8月8日(土)～9日(日)

講義：共助の社会づくりと自治体の役割

深尾昌峰(公財) 京都地域創造基金理事長・龍谷大学政策学部准教授

実践：模擬事業仕分け②仕分け人の基礎

モデレーター：伊藤 伸 構想日本総括ディレクター

実践：事業シート・プレゼンテーション

モデレーター：熊谷、伊藤

実践：締めくくり総括ディスカッション

※講師は情勢等により変更となる場合があります。また、講義テーマはいずれも仮題です。

※上記はそれぞれの回のタイムスケジュールを表しているものではありません。

現場みらい塾 募集要項

■第二期プログラム期間

2015年5月～8月(全4回)

■募集人数

定員 50名(先着順)

■応募資格

地域をより良くしたいという情熱を持ち、地域の課題解決と未来創造のために、自ら考え行動する意志のある人

■費用

37,800円(税込)

※各回参加の場合 10,000円/回(税込)

※旅費・食費等は含まれません

※PHP総研必着。ただし、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

■会場

PHP研究所 東京本部

江東区豊洲 5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント
〔最寄駅〕東京メトロ有楽町線「豊洲」駅
6a出口より徒歩7分

※第2回以降、PHP研究所東京本部が移転のため、会場が変わりました。

■応募手続き

1. 所定の受講申込書をPHP総研までFAXで送信

FAX : 03 - 3239 - 6273

2. 所定の受講申込書を添付したメールをPHP総研まで送信

E-mail : genba-mirai@php.co.jp

3. 現場みらい塾申込みサイトに入力し送信

URL :

<http://research.php.co.jp/2015.php>

※上記のいずれかの方法でご応募ください

※受講申込書は、現場みらい塾ホームページよりダウンロードできます

※申込みサイトには、現場みらい塾ホームページからアクセスすることもできます

※具体的なプログラム内容、開催会場等、詳細につきましては順次現場みらい塾ホームページに掲載いたします。最新情報をご確認ください。

現場みらい塾



お問い合わせ先

PHP総研

担当：今井 Tel : 03-3239-6222

構想日本

担当：田中 Tel : 03-5275-5607

E-mail : genba-mirai@php.co.jp